

ムサビの教員が選ぶ

美大生におすすめの本

Recommended books for art students.

工芸工業デザイン学科

大村俊二教授

『現代工芸論』

笹山央 著，市川文江 編，蒼天社出版，2014



人が自分の手でものを作るとき、ふと、自分がどの領域で制作しているのか？と疑問を持つ時があります。

この本は「アート」、「デザイン」、「工芸」、「工業」などの様々な制作領域の特徴や違いをわかりやすく解説し、現代の工芸の役割や技術論などを通して、ものを作ることの大切さを教えてくれます。

「いいものを作る」ということは、用（はたらき）があること・「長く使って愉しめるもの」であること・「美しいもの」であること、そして「くつろぎがあるもの」であること。

現代美術では表現の内容や主題（コンセプト・思想など）が重視されるが、工芸の創作においては素材とそれを加工する技法が不可欠である。

つくられるもの一つひとつが、同種の他のものにいつでも置き換えられるような均質・無個性のものではなく、手の痕跡を残した唯一無二性のうえに成立することを目指し、手仕事ベースで使用価値重視のものづくりを進める。

このような指針を示し、ものづくりとは我々の暮らしをより豊かに、よりポジティブに変えてゆく存在であることを教えてくれる。

